



伊藤正信 議員

新築が検討される 弥生保育所の現在の状況は

問 (新築の検討される)弥生保育所は、どんな状況か。

人以上の企業に策定が義務付けられた、子育て支援策が中心の計画。期間は17年度から10年間。

用地交渉を準備中 23年開所を目指す

答 市長

同保育所西側の約4、200㎡の地権者に相談し、よい返事をもたらっている。21年度の予算組みからしっかりと話し合いをしたい。そういった準備を進めながら、23年春に開所できるように進めていきたい。

問 次世代育成支援行動計画【注】の後期(22～26年度)に、小・中学生の意見を十分に取り入れた計画を策定してほしいがどうか。

【注】全自治体と従業員301

答 児童課長

同計画アンケート調査を、就学前と小・中学生の保護者2、000人、小・中学生1、000人の計3、000人を対象に、20年度中に実施したい。

問

また協議会を設置し、一般的に協議していききたい。

答 副市長

企業の雇用(情報)を市民に広報等で知らせている。開発時に地元の優先雇用を会社に依頼している。雇用促進は十分心して今後も推進に当たっていききたい。

問

鉄鋼スラグ【注】、廃バッテリー

テリ―液処理が不適切な問題【12頁に関連記事】は、農作物の風評を危惧するがどうなっているのか。

【注】19年8月に、市内等に野積みされた鉄鋼スラグ(鉄鋼の製造工程から出る副産物)から、ホウ素等が検出された問題。

答 開発部長

スラグ問題は19年度に大豆、稲を採取して検査し、基準値内を確認している。廃バッテリー問題はJAAと協議し、米は検査結果が出るまで出荷を見合わせた」と聞いている。



▶不法投棄されたごみを回収するシルバー人材センターの会員

シルバーに委託する 散乱ごみの回収状況は

問 散乱ごみ回収業務【注】について尋ねる。

【注】62カ所の公園等や幹線道路を中心に、市がシルバー人材センターに年間委託し、会員が不法投棄や散乱ごみを週5日程度回収している。6月より開始。

(1) 実績

(2) 回収場所を市内全般にしているかどうか。

テレビ等家電のほか 4、550 kgを回収

答 環境課長

(1) 8月末現在、可燃ごみ等4、550kgのほかに、テレビ等の家電を回収した。早期処理で安価にでき、経費節減効果はあると考えている。20年度実績を基に、不法投棄防止のよい方法が見つければと考えている。

(2) 場所は試行錯誤である。住民より情報がもらえれば臨機応変に回収している。